

目標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

1月号／2009年1月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

12月例会並びに第2回臨時総会

■ところ■ 報徳苑

■とき■ 平成20年12月10日(水)

演題 「制度資金の運用ならびに経営計画書の必要性」 東邦銀行平支店 融資課長 曾我誠司 氏



12月10日(水)午後6時30分より、12月通常例会が開催されました。三室例会委員長の司会のもと、阿部好則さんの3つの目的唱和の後、里見代表幹事の挨拶、各連絡報告事項と肃々と進められました。

里見代表幹事からは、「最近のいわきの経済状況を見ると、至るところで来年は厳しいとの声を聞く。アメリカから発した世界的な金融危機が一部の投資家に止まることなく、不況の波として地方の経済に急激に押し寄せている。これほどまでに影響を受けるのは、日本経済が極度に外需に依存した産業構造になっているが故で、内需型産業の活性化、地域循環型の経済システムの構築が必要。今後、持続可能な地域の経済システムや仕組みを研究し考えていきたい」との挨拶がありました。

12月の誕生月花プレゼントは、阿部好則さん、小野英典さん、齋藤運弥さんに「シクラメン」がプレゼントされました。引き続き、小沼企画総務委員長の司会により、第2回臨時総会が開催されました。里見代表幹事の挨拶の後、松崎副代表幹事の議長により、「平成21年度役員(案)」について審議を行いました。

山口選考委員長より、選考委員会での「役員(案)」の検討経緯、選考の考え方及び内容の説明があり、満場一致で承認されました。(4P参照)

例会並びに臨時総会終了後、東邦銀行平支店融資課長の曾我誠司氏より「制度資金の運用ならびに経営計画書の必要性」について講演を頂きました。



左から斎藤運弥さん(12/22生)、阿部好則さん(12/12生)、里見代表幹事、小野英典さん(12/18生)

演題

「制度資金の運用ならびに経営計画書の必要性」

講師 東邦銀行平支店 融資課長

東邦銀行平支店の曾我課長は、会津芦ノ牧温泉大川荘での出向経験を経て、本部融資課のP Jチームに2年半在籍し、県内の様々な企業の経営者とともに経営計画書を作成し、経営再建にその手腕を奮われたとのことです。

はじめに、経営環境が厳しい折、(I)経済産業省中小企業庁による緊急保証制度「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」、そして福島県の緊急経済対策である「経営安定特別資金」について、それぞれ制度の概要等を紹介頂き、その後、(II)経営計画策定のポイントと具体的な策定手順、手法についてご説明頂きました。

(I)「原材料価格高騰対応等緊急保証制度(国)」、「経営

安定特別資金(県)」とも、対象者は国のセーフティネット保証の5号要件の認定を受けた中小企業者。セーフティネット保証の詳細は中小企業庁のHPに記載されており、その中で5号要件とは、(全国的に)業況の悪化している業種に属する中小企業者。

具体的には、

- i) 最近3か月間の平均売上高等が前年同期比マイナス3%以上(少し前まではマイナス5%であった)の中小企業者。
- ii) 製品等原価のうち20%を占める原油等の仕入れ価格が20%以上上昇しているにもかかわらず、製品等価格に転嫁出来ていない中小企業者。
- iii) 最近3ヶ月間(算出困難な場合は直近決算期)の平均売上総利益率又は平均営業利益率が前年同期比マイナス3%以上の中小企業者。

いずれも指定業種に属することが条件で、現在618業種。詳細のリストはHPに記載されている。また、指定業種には市町村長の認定が必要で、いわき市の場合、市商工観光課への申請が必要。申請書や申請方法はいわき市HPに記載されており、参考にしてもらいたい。

融資限度額は、「原材料価格高騰対応等緊急保証制度(国)」が、国のセーフティネット保証の枠内である2億8,000万円。「経営安定特別資金(県)」の場合は5,000万円。融資利率は、「原材料価格高騰対応等緊急保証制度(国)」が連動金利になっているに比し、「経営安定特別資金(県)」は年2.0%と固定。保証利率は、「原材料価格高騰対応等緊急保証制度(国)」が年0.8

曾我誠司氏

%、「経営安定特別資金(県)」が年0.7%。現在の保証料率は1.5%前後で推移しているので、これよりは割り引かれた保証料率となっている。融資期間は、両制度とも10年以内。借換は、「原材料価格高騰対応等緊急保証制度(国)」は可能であるが、「経営安定特別資金(県)」は不可。取扱期間は、両制度とも平成22年3月31日まで。

これら制度は、例えば材料費が上がった売上が下がったという形で、年間の約弁額が若干資金的に足りない資金以上に満たないといった場合に利用価値の高い制度資金ではあるが、経営環境は変化し続けていくもので、制度の利用に際しては、10年間の約弁を組む準備に加え、中長期的な見方・立場に立った経営計画を作成しそれを社内(全役職員)に明示していくことが重要である。

(II) 経営計画策定のポイントとして、6点ご説明頂きました。

①経営理念、経営ビジョンの策定

- ・現状とるべき姿のギャップを埋めるのが経営計画で、将来のあるべき姿を明示する。

②現状認識

- ・現状認識がずれていると有効な計画には成り得ず、どうして・どうしての要因追究を繰り返すことが重要。

③経営課題、改善の方向性の抽出

- ・あるべき姿を目指すために障害となっている経営課題・問題点を抽出し、取り組むべき優先順位付けする。

④具体的実行計画の策定

- ・具体的な行動可能なレベルまで施策を落とし込む。(目的、行動、時期、責任者、数値目標など)

⑤数値計画の策定

- ・あるべき姿に照らし公平に評価するため、達成度合いを数値目標で判定する。

⑥予実管理方法の規定

- ・実行途中での定期的な見直しを行い、問題点の再把握、修正を図ることが重要である。

「経営計画書」は計画書そのものを作ることが重要ではなく、計画を着実に実行していくこと、そして実行していく中で問題点や障害を都度解決し企業としての自己解決能力を醸成していくことが重要であり、経営計画書の要諦であると、強調しご説明頂きました。



12月グループ会報告

人材育成研究グループ会

■日 時 12月17日(水曜日)18:30~

■場 所 イタリアンコート

■内 容

1. 懇親会形式による情報交換会

～11月までの活動の労いとグループ会メンバーの懇親をはかりました。

・普段の研究会では話せない、聞けないプライベートな情報や地域情報の話で

大変有意義な時間を過ごすことができました。

・工夫したこと

①リーダの思いつきであります、ノーネクタイ・普段着での実施。

これは通常のグループ会でも有効と思います。

②全員に連絡し

きれませんでしたが、プレゼント(個人負担がないもので)の実施をしました。



経営品質向上グループ会

■日 時 12月16日(火曜日)18:30~

■場 所 新つた

■内 容 楽しい『忘年会』となりました。



経営戦略グループ会

■日 時 12月10日(水曜日)18:00~

■場 所 報徳苑

■内 容 12月が、担当例会であるため、その運営と準備を行いました。

東邦銀行 平支店 融資課長 曾我誠司氏をお招きし「制度資金の運用並びに経営計画書の必要性」と題して、ご講演を頂きました。制度資金の運用では、「セーフティ

ネット保障」第5号要件の認定を受けた中小企業者に対する、原料価格高騰対応保障制度(緊急保障制度)、福島県制度資金「経営安定特別資金」について、融資限度額や利率、取扱期間などについてご説明を頂きました。

経営計画策定の提案では、策定の切り口と課題の抽出方法のご説明の中で、業績の悪化は外部環境変化の対応力低下と内部環境(能力、体制など)の相対的な悪化が挙げられる。そのためには、意識の変革、事業構造の変革、収益構造の変革などが必要であると述べられました。

「経営計画は、企業の『夢』に数字をいれていくこと」であり、具体的な経営計画の作成方法についてご説明を頂き、多くの同友会会員様にご聴講頂きました。

人材交流グループ会

■日 時 12月16日(火曜日) 19:00~

■場 所 古滝屋

■内 容 古滝屋(湯本温泉)にてグループ会メンバー5名にて、開催された。

はじめに、里見代表からご挨拶をいただき、乾杯を行った。そして、今年の活動を振り返りながら、メンバーの親睦を深め、忘年会を行った。

最後に、山口副代表の三本締めにて会を終了した。

ビジネスモデル研究会

■日 時 12月16日(火曜日)

■場 所 アクアマリン会議室16:00~
割烹 一平18:00~

■内 容 アクアマリンの会議室をお借りして環境展示課長津崎氏を講師にお招きし、ご専門の立場よりまず、常磐沖の定義について、及び常磐沖の潮目とは、について詳細なご説明をいただきました。

常磐沖に生息及び回遊する代表的な魚の生態や潮目とは、親潮本流と黒潮本流が直接交差するのではなく、おのおの支流が混ざり合う場所を指すなど専門のお立場ならではのお話を頂きました。

午後6時から一平にて、今年の活動の反省と会員の慰労を兼ね忘年会へと移行し、吉田氏の一本締めで散会といたしました。



●(社)いわき青年会議所との懇談会開催 【総務委員会】

去る12月2日(火)、イタリアンコートにおいて、当会からは里見代表幹事をはじめとして9名、(社)いわき青年会議所からは松崎理事長をはじめとして7名の参加にて懇談会が開催された。

冒頭、両会の活動内容が紹介され、ともに“いわき”の活性化にむけた取り組みを説明し、質疑応答を交えながら活発な情報交換がなされた。

また、両会にとっての共通の課題は、思いを共有する会員の拡大であり、その点で互いの協力関係を確認しあった。当会から参加したメンバーは、青年会議所の諸君にとっては、先輩にあたる方々ばかりでもあり、終始、彼等が緊張気味なのは感じたが、その会話の端々に青年経済人としての先見性を垣間見ることが出来、当会の会員にとっても得ることの多い懇談会であった。



平成21年度 役 員

○ 代表幹事／里見 潤

- 副代表幹事／安島 浩(第1グループ会・情報委員会)
- 寺主 君男(第2グループ会・会員増強交流委員会)
- 松崎總一郎(第3グループ会・企画総務委員会)
- 山口 弘之(第4グループ会・例会委員会)

○ 常任幹事／猪狩 正明 大平 栄司 大和田 宏 佐藤 敏雄

○ グループ会

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 第1グループ会 | グループ長 小野 英典 |
| | 副グループ長 江尻 修一 齋藤運弥 松崎貴弘 見上寛幸 |
| 第2グループ会 | グループ長 小野 賢司 |
| | 副グループ長 小沼 幸誠 国府田靖夫 小松ひと美 竹下康照 若松佐代子 |
| 第3グループ会 | グループ長 高崎 鉄也 |
| | 副グループ長 阿部 好則 佐藤友計 高萩和義 芳賀 潔 松尾幸治 |
| 第4グループ会 | グループ長 田村慎太郎 |
| | 副グループ長 阿部 晴康 黒須正浩 坂本和久 吉田嘉徳 四ツ倉隆裕 |

○ 研究会

- 起業研究会 委員長 武藤眞一 副委員長 齋藤運弥 須藤新太郎 芳賀 潔 吉田嘉徳

○ 委員会

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 企画総務委員会 | 委員長 小沼郁互 |
| 副委員長 | 高田郁雄 長谷川祐一 星 勝行 村田裕之 委員 阿部好則 高萩和義 |
| 情報委員会 | 委員長 山名二郎 |
| 副委員長 | 阿部晴康 岩尾英子 坂本和久 清水雅昭 中田博道 委員 山崎勇喜 |
| 例会委員会 | 委員長 三室啓記 |
| 副委員長 | 佐久間一枝 野口和彦 蝶田房子 松原 茂 |
| 会員増強委員会 | 委員長 田村哲朗 |
| 副委員長 | 有賀行秀 田子英彦 根本健一 船生秀文 吉田 泉 四ツ倉隆裕 |

○ 監 事／櫛田 雪美 塚本 英雄

1月グループ会ご案内

- 人材育成研究グループ会
1月21日(水) PM6:30～
報徳苑
・社員育成のポイントまとめ その他情報交換
- 経営品質向上グループ会
1月は休会
- 経営戦略グループ会
1月27日(火) PM1:30～
先進企業訪問 株ハニーズ
- 人材交流グループ会
1月21日(水) PM7:00～
春木屋(白鳥温泉)
新年会
- ビジネスマodel研究会
1月30日(金) PM6:30～
報徳苑 常磐沖潮目の魚について
会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

1月新年例会 賀詞交歓会のご案内

平成21年1月15日(木)
パレス いわや 会費 5,000円

1月幹事会 午後6時30分～午後6時45分
1月新年例会 午後6時45分～午後7時
賀詞交歓会 午後7時～午後8時30分

酒席を考慮し送迎バスを準備いたしますのでご利用下さい。酒気帯び運転は厳禁です。

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます
●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発 行 いわき経済同友会 里見 潤
編 集 情報委員会 清水雅昭
委 員 広報担当 岩尾英子・高萩和義・中田博道・山崎勇喜 HP担当 坂本和久・阿部晴康

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp